2020年度（令和２年）＜新・珍発見報告＞昆虫のまとめ

いつもたくさんの報告をありがとうございます。結果は身近な足利市の昆虫を知る大切な資料となります。拝見するのを毎年楽しみにしております。

アンケートの設問６（参加者の意見・感想、P60～77）でも報告されている方がいるように、6、7月の低温と毎日のようにあった降雨、8月の高温と少雨の影響がありました。またコロナ禍が重なり虫を調べるのは大変であったと思います。

≪絶滅危惧種≫

以下のような絶滅危惧種の報告がありました。かっこはメッシュ番号です。

- マツムシ（17-54、21-70）（栃木県：要注目）
- サラサヤンマ（19-61）（栃木県：準絶滅危惧）
- ハルゼミ（22-60）（栃木県：要注目）
- ヒラタクワガタ（15-58）（栃木県：準絶滅危惧）
- ゲンジボタル（18-54）（栃木県：要注目）
- オオムラサキ（18-54、19-61）（国：準絶滅危惧，栃木県：要注目）
- ジャコウアゲハ（16-62、19-61、22-60、22-65）（栃木県：要注目）
- モンスズメバチ（20-69）（国：情報不足）
- オオセイボウ（19-61）（国：情報不足，栃木県：情報不足）

※モンスズメバチとオオセイボウは画像鑑定依頼のページ参照

以上のように昨年より多い種類が報告されました。ハッチョウトンボという報告がありましたが保留とさせていただきました。もし本当であれば大発見となります。

ジャコウアゲハ幼虫▲

マツムシ▶

（大川検討委員提供）

≪外来種や地球温暖化に伴う北上昆虫≫

【外来種】・アカボシゴマダラ※・ヨコヅナサシガメ
【北　上】・アオドウガネ　　・ツマグロヒョウモン
　　・ナガサキアゲハ　　・クマゼミ

以上の昆虫が報告されました。

▲アカアシオオアオカミキリ
（大川検討委員提供）

アカアシオオアオカミキリ、ムラサキツバメ、ハマオモトヨトウ※も新たに報告されました。この３種も以前は足利市で見られなかったもので分布北上昆虫です。いまではたくさんいるようになったアオマツムシ（外来種）、アメリカシロヒトリ（外来種）の報告もありました。

クマゼミは時々鳴き声を聞くことができるようですが足利市には未だ定着できないようです。今後の推移に注目したい虫です。外来種のイセリアカイガラムシ※やベダリアテントウ※の報告もありました。（※印の昆虫について、詳しくは画像鑑定依頼のページを参照）

昆虫以外では外来種のスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の報告が新たにありました。

≪その他≫

レポーターのなかには詳しく名前を調べてくださった方がいました。たいへんなお時間と労力を要したと思われます。おかげさまで貴重な資料となりました。画像による鑑定依頼もたくさんありましたのでそちらもご覧になってください。興味深い虫が多くあります。

画像による鑑定依頼のガロアムシについて追加の説明をします。

ガロアムシはコオロギ・バッタ・ゴキブリ・カマキリ・ナナフシなどとの親戚筋でガロアムシだけで一つの大きなグループ（ガロアムシ目）を作っています。ガロアムシの仲間はアメリカ合衆国・カナダ・日本・韓国・中国・ロシアから知られ、いわゆる北半球の環太平洋に分布しています。

▲リョウモウ
ナガゴミムシ
（大川検討委員提供）

ガロアムシは虫に興味のある人なら誰でも知っている虫です。随分前ですが憧れのガロアムシを足利市で発見し、たいへん驚いてしまいました。さらに最近になりもう一つ別の種類と思われるガロアムシが足利市とその周辺にいることがわかりました。2007年に新種として報告されたリョウモウナガゴミムシの分布域とほぼ重なります。

このことは足利市の自然を知る大きな手掛かりとなります。ガロアムシは日本だけでもたくさんの種類がいる可能性がありますが研究が進んでいません。足利市のもうひとつのガロアムシに名前が付くのはまだまだ先のことになりそうです。